



上 PHOTO 秋には紅葉を楽しむ人と、ワカサギのボート釣りを楽しむ人であふれる。

下 PHOTO 鍋割山から見た東京スカイツリー。晴れた日には肉眼でもはっきりと見える。

楽しんでもらう
それがモットー。

Interview
01

赤城山



青木 猛さん 46歳
赤城観光塾メンバー

大沼湖畔で旅館を経営
憩いの山「赤城山」を目指し活動する



ワカサギ釣りの道具をレンタルした人へ、釣り方のアドバイスをしている青木さん。「来てくれた人みんなに楽しんでもらいたい。そんな思いから始めたんです。やっぱり釣れないよりは釣れる方が断然楽しいですからね。そうすると今度はお客さんの方からいろいろ話し掛けてきてくれるようになるんです。それが楽しみですし、刺激になります」

埼玉県から毎年訪れる家族との出愛いもそんな始まりだった。「もう7年くらい仲良くさせてもらっています。初めてのワカサギ釣りの時に、アドバイスをしながらその場で釣り上げて見せたんです。そうしたら『おおっ！』って感じで一気に打ち解けて、今では家族ぐるみのお付き合いになりました。山に登るのも好きな人たちなので、秋冬の土日曜は毎週のように来てくれます。何より赤城山を気に入ってくれたことが、本当にうれしいです」

自然が豊富な赤城山。こんな意外な出愛いもある。「おぼれている子ジカを助けたことがあるんです。最近、赤

城の自然をシカに荒らされてしまう被害が問題になっているのですが、その時ばかりは仲間とボートに乗って助けに行きました。助けた時の感謝しているようなまなざしが忘れられません」

また、美しい景色こそ赤城山の醍醐味だという。

「鍋割山や鳥居峠などの富士山や東京スカイツリーが見える場所もお薦めですが、実は、大沼の湖面から見る景色が絶景なんです。刻一刻と移ろう景色は言葉では言い表せません」

赤城山を憩いの山に。それが赤城山に暮らす人みんなの思い。赤城観光塾ではことしから月に1度、地区の全員が集まり、本音で議論する意見交換会を始めた。

「たくさんの人たちが、赤城山を愛してくれていることを知りました。だからこそわたしたち赤城山に暮らす人が、おもてなしの心を忘れてはいけないと思います。心豊かな人。美しい山と湖。赤城山のすべてを楽しんでもらえるよう、地区の全員が一丸となって取り組んでいます。そんな仲間たちと出愛えたのも赤城山があったからです」

雄大な自然と
美しいすそ野

四季折々の表情が楽しめる赤城山。赤城山とは黒檜山や、駒ヶ岳、長七郎山などの外輪山と中央火口丘の地蔵岳の総称で、カルデラ内には大沼小沼、覚満淵の3つの湖があります。日本百名山の一つに数えられ、登山道や遊歩道も充実。初夏のレンゲツツジや秋の紅葉など、年間を通して自然に親しめます。

冬の風物詩、大沼での氷上ワカサギ釣りは、1月中旬から3月下旬まで。一面の銀世界で、誰でも気軽に穴釣りが楽しめます。また「日本一小さなスキー場」赤城山第1スキー場は、親子で雪遊びのできる絶好のスポットです。



一期会

Once in a lifetime chance
出会いから出愛いへ

前橋で暮らす人たちが胸に秘めている「前橋が好き」という思い。そのような人たちとの出会いは、このまちの良さを再認識させてくれるとともに、心が温まる喜びがあります。それは「出会い」が「出愛い」に変わる瞬間です。

雑誌やパンフレット、インターネットなどでさまざまな情報を得られる現代。でも、ちょっと物足りない気がしませんか。ここでは、前橋を愛してやまない人たちと、そのすてきな出愛いを紹介していきます。

問い合わせは 市政発信課 ☎898-6642